

令和 4 年度当初予算・令和 3 年度 2 月補正予算内容説明書

教 育 委 員 会

教育委員会 令和4年度当初予算・令和3年度2月補正予算(案)総括表

一般会計

(単位:千円)

款	項	令和3年度12月、2月補正予算・令和4年度当初予算				令和2年度2月補正予算・令和3年度当初予算			比較			
		令和3年度 12月補正予算額 A (経済対策)	令和3年度 2月補正予算額 B (経済対策)	令和4年度 当初予算額C	計(16か月予算) D(A+B+C)	令和2年度 2月補正予算額 E (総合経済対策)	令和3年度 当初予算額F	計(14か月予算) G(E+F)	当初予算		16か月予算	
		増減額 (C-F)	C/F(%)	増減額 (D-G)	D/G(%)							
10款 教育費	1項 教育総務費	436,067	0	38,500,972	38,937,039	2,007,081	37,286,591	39,293,672	1,214,381	103.3%	△ 356,633	99.1%
	2項 小学校費	0	0	79,529,459	79,529,459	0	79,330,482	79,330,482	198,977	100.3%	198,977	100.3%
	3項 中学校費	0	0	46,018,477	46,018,477	197	46,200,930	46,201,127	△ 182,453	99.6%	△ 182,650	99.6%
	4項 高等学校費	153,381	419,162	64,735,310	65,307,853	2,220,525	63,769,519	65,990,044	965,791	101.5%	△ 682,191	99.0%
	5項 特別支援学校費	957,212	0	22,335,736	23,292,948	499,769	20,389,017	20,888,786	1,946,719	109.5%	2,404,162	111.5%
	6項 社会教育費	5,641	17,034	3,771,887	3,794,562	152,018	3,722,502	3,874,520	49,385	101.3%	△ 79,958	97.9%
	7項 保健体育費	17,870	36,265	2,277,361	2,331,496	△ 45,840	2,474,415	2,428,575	△ 197,054	92.0%	△ 97,079	96.0%
	計	1,570,171	472,461	257,169,202	259,211,834	4,833,750	253,173,456	258,007,206	3,995,746	101.6%	1,204,628	100.5%
財源内訳	国支出金	393,232	0	47,410,632	47,803,864	1,032,731	46,527,883	47,560,614				
	県債	933,700	0	15,061,200	15,994,900	2,091,800	13,518,800	15,610,600				
	その他	0	0	8,666,107	8,666,107	1,001	8,846,679	8,847,680				
	一般財源	243,239	472,461	186,031,263	186,274,502	1,708,218	184,280,094	185,988,312				
	計	1,570,171	472,461	257,169,202	258,739,373	4,833,750	253,173,456	258,007,206				

令和4年度当初予算編成に伴う重点施策

(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	重点施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目					
文化財課 文保課	10	6	3	一部 新規	古代日本の 「西の都」 魅力発信費	31,469	15,361	<p>1 事業目的 日本遺産「古代日本の『西の都』」の魅力を国内外に発信し、広く知ってもらうとともに、福岡県の歴史や文化財への関心を抱けるような機会を提供し、文化財を大切に育てる心の育成と地域振興への寄与を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 新「西の都」人材活用事業 474 ・ 「西の都」の魅力と活用方策を外部から提案してもらうためのコーディネーターの任命</p> <p>(2) 新「西の都」普及啓発事業 4,159 ・ 将来のガイド候補育成のための講座の実施（児童生徒対象） ・ 児童向け解説本の作成</p> <p>(3) 新「西の都」を深める調査研究・発信事業 16,941 ・ 魅力を深める関連文化財の調査研究 ・ 調査研究に基づいた映像作成 ・ シンポジウムや展示会の開催</p> <p>(4) 新「西の都」基盤整備事業 9,895 ・ ホームページによる情報発信</p>
<p><日本遺産「古代日本の『西の都』」> ○古代日本の「西の都」とは ・ およそ1,300年前、筑紫の地に東アジアの防衛や国際交流の拠点として栄えた都。 ・ 30の構成文化財があり、主なものとしては大宰府跡や大野城跡、基肆城跡、水城跡がある。 ○日本遺産としての認定 ・ 平成27年 太宰府市単独での認定 ・ 令和2年 対象範囲を筑紫地区を中心とした5市2町に広げる追加認定 （筑紫野市、大野城市、春日市、太宰府市、那珂川市、宇美町、佐賀県基山町）</p>								

令和4年度当初予算編成に伴う重点施策

(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	重点施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目					
施設課 高校教育課 特別支援 教育課	10	1	4	一部 新規	県立学校ICT 活用教育推進費	3,893,861	0	<p>1 事業目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ BYOD方式の成果と課題を踏まえ、高校生の1人1台端末の整備をはじめとした、日常的にICTを活用できる環境を整備する。 ○ 令和4年度から必履修化される「情報I」の質の高い教育を実施し、プログラミング的思考力を有した人材育成を効果的に行う。 ○ ICTの活用により企業のニーズに対応したテレワーク実習等を実施することで就職意欲の向上を図り、特別支援学校生徒の自立と社会参加の促進につなげる。 <p>2 事業内容</p> <p>(1) 県立学校におけるICT環境整備 3,582,446</p> <ul style="list-style-type: none"> 新 ① 高校生1人1台端末の整備 タブレット型パソコン40,598台、電源キャビネット1,179台 新 ② 教員1人1台端末の整備 タブレット型パソコン5,978台、電源キャビネット136台 ③ セキュリティ環境の拡充 1人1台端末の整備に伴うセキュリティ機器の増設 ④ 既存整備分の機器のリース、保守等 令和元年度から整備している機器等の継続的な運用 (タブレット型パソコン(32,162台)大型提示装置、ネットワーク環境等) <p>(2) ICT支援員の配置 223,232 教員のICT活用をサポートするICT支援員を配置 [配置基準] 全県立学校119校に30人(4校に1人の割合) [業務内容] ICTを活用した授業支援、校務支援、環境整備支援、校内研修支援</p> <p>(3) 新 高校におけるプログラミング実習環境の整備 48,178 生徒のプログラミング活用能力の向上を図るため、「情報I」を履修する64校(第1学年)にプログラミングの実習環境を整備</p> <p>(4) 新 特別支援学校におけるICTを活用したテレワーク実習等の実施 40,005</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ICTスキル習得に向けた授業改善とテレワーク実習の実施 ② 高等部設置校14校に就職支援コーディネーター9名を配置
【1人1台端末(タブレット型パソコン)整備状況】								
整備対象		整備 台数	整備年度(台数)					
			~R1	R2	R3	R4		
中学校 中等教育学校(前期)		1,635	75	1,560				
高等学校 中等教育学校(後期)		67,517	1,680	13,230	13,230	39,377		
特別支援学校		3,608	768	1,619		1,221		
教員		5,978				5,978		
計		78,738	2,523	16,409	13,230	46,576		

令和4年度当初予算編成に伴う重点施策

(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	重点施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目					
施設課	10	4	5	継続	県立学校整備費	15,708,929	11,758,900	<p>1 事業目的 県立学校施設の整備を行うことにより、教育環境の充実を図る。</p> <p>2 事業内容 ○高等学校 (1) 大規模改築事業 12校 7,836,522 (2) 大規模改造・改修等事業 24校 3,585,623 (3) その他事業（トイレ改修、グラウンド整備等） 41校 1,520,294</p> <p>○特別支援学校 (1) 新設・校舎増築等事業 6校 1,952,442 (2) 大規模改築事業 3校 622,748 (3) 大規模改修等事業 5校 94,623 (4) その他事業（寄宿舎ボイラー全面改修等） 3校 96,677</p>
	10	5	3			債務負担行為	11,835,405	

令和4年度当初予算編成に伴う重点施策

(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	重点施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要		
	款	項	目							
高校教育課	10	1	4	新規	県立工業高校 半導体人材 育成費	66,396	0	<p>1 事業目的 「福岡県グリーンデバイス開発・生産構想」の中で、半導体企業の誘致や県内大学での半導体専門人材の育成等が実施されることを踏まえ、高校卒業後に半導体関連産業でオペレーターから保守業務まで対応できる人材を育成する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 半導体関連産業が必要とする基礎的・基本的技術の習得 64,012</p> <p>① 半導体製造技術に関する実習環境の整備 [整備内容]半導体製造設備制御実習装置等 [整備台数]各校11台(教員用1台、生徒用10台)</p> <p>② 技術者からの実技指導 [対象]2年生、教員</p> <p>(2) 半導体関連産業への就職意欲の高揚 2,384</p> <p>① 半導体関連企業への訪問 [対象]1・2年生</p> <p>② インターンシップの実施 [対象]2年生</p>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【対象校・学科】</p> <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="width:50%; vertical-align:top;"> <p>○北九州地区</p> <p>苅田工業 情報技術科 小倉工業 電子科 戸畑工業 情報技術科 八幡工業 電子機械科</p> <p>○福岡地区</p> <p>香椎工業 情報技術科 福岡工業 電子工学科</p> </td> <td style="width:50%; vertical-align:top;"> <p>○筑後地区</p> <p>三池工業 情報電子科 八女工業 情報技術科 浮羽工業 電気科</p> <p>○筑豊地区</p> <p>田川科学技術 工業システム科 嘉穂総合 工業科 11校 440人/学年</p> </td> </tr> </table> </div>									<p>○北九州地区</p> <p>苅田工業 情報技術科 小倉工業 電子科 戸畑工業 情報技術科 八幡工業 電子機械科</p> <p>○福岡地区</p> <p>香椎工業 情報技術科 福岡工業 電子工学科</p>	<p>○筑後地区</p> <p>三池工業 情報電子科 八女工業 情報技術科 浮羽工業 電気科</p> <p>○筑豊地区</p> <p>田川科学技術 工業システム科 嘉穂総合 工業科 11校 440人/学年</p>
<p>○北九州地区</p> <p>苅田工業 情報技術科 小倉工業 電子科 戸畑工業 情報技術科 八幡工業 電子機械科</p> <p>○福岡地区</p> <p>香椎工業 情報技術科 福岡工業 電子工学科</p>	<p>○筑後地区</p> <p>三池工業 情報電子科 八女工業 情報技術科 浮羽工業 電気科</p> <p>○筑豊地区</p> <p>田川科学技術 工業システム科 嘉穂総合 工業科 11校 440人/学年</p>									

令和4年度当初予算編成に伴う重点施策

(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	重点施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目					
義務教育課 高校教育課	10	1	4	一部 新規	グローバル人材 育成事業費	53,923	38,393	<p>1 事業目的 グローバル化に対応した青少年育成を推進するために、英語を用いた活動を通して、コミュニケーション能力を育成するとともに、英語授業における指導方法の改善・充実を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 小中学生の英語学習意欲の向上 14,639</p> <p>① 体験型英語学習を活用した英語教育モデルの開発 [実施市町村]意欲的な取り組みを行っている6市町村 [内容]市町村による体験型英語学習の実施を支援し、体験型英語学習を活用した英語教育モデルを開発する。</p> <p>(2) 高校生の4技能5領域の英語力の総合的な育成 39,284</p> <p>① 生徒の英語による発信力・交渉力育成のための体制整備 ・高度な英語指導力をもったネイティブ英語教員の配置 [配置校]6校 [内容]高いレベルの英語の授業を単独で行う。 ・校務分掌の負担軽減のための非常勤講師の措置</p> <p>② 生徒の実践的な英語力の育成のための体制整備 ・チームティーチングの指導経験が豊富な英語活動指導員の配置 [配置校]4校 [内容]英語以外の教科を、教科担当者と英語で指導を行う。</p>
<p>○学習指導要領の改訂</p> <p>1. 小学校 令和2年度～ 全面実施 英語教育の早期化(第5・6学年 → 第3・4学年) 英語教育の教科化(第5・6学年)</p> <p>2. 中学校 令和3年度～ 全面実施 英語によるコミュニケーション能力の向上 「話すこと(やり取り)」領域の設定 取り扱う語数の増加</p> <p>3. 高等学校 令和4年度～ 年次進行で実施 「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」 の4技能5領域の総合的な育成</p>								

令和4年度当初予算編成に伴う重点施策

(参考)

(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	重点施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目					
高校教育課	10	1	4	新規	県立高校地域 連携構築費	4,407	0	<p>1 事業目的 地域との連携が進んでいる県立高校に学校運営協議会及び地域学校協働本部を設置し、地域連携の取組を強化することで、県立高校の特色化及び地域の将来を担う人材の育成を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）の導入 2,271</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校運営協議会の設置 [設置] 4校 ・ 学校運営協議会ディレクターの配置 ・ 情報共有や効果的な体制構築のための研修会実施 <p>(2) 地域学校協働本部の設置 2,136</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的な推進 ・ 学校との窓口となる地域学校協働活動推進員を配置
社会教育課	10	6	1					

令和4年度当初予算編成に伴う重点施策

(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	重点施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目					
義務教育課	10	1	4	新規	学級づくりと 個別最適な 学習推進費	9,149	0	<p>1 事業目的 確かな学力の育成を図るため、研究指定校において、学力と学級満足度の正確な把握による個別最適な学習支援と、親和的な集団を形成する学級づくりを推進する。 また、福岡県学力調査の将来的なIRT・CBT化を見据え、先行実証を行う。</p> <p>2 事業内容 県内6中学校区（小学校2校・中学校1校）をモデル校に指定し、以下を実施する。</p> <p>(1)児童生徒の学級適応感の向上 1,988 [内容] ・楽しい学校生活を送るためのアンケートを使った児童生徒の学級満足度等の測定 ・学級適応感の要因分析や学力到達度の分析に基づいた職員研修の実施</p> <p>(2)学力状況の正確な把握 5,184 [内容] ○IRT・CBTを導入した学力調査（埼玉県方式）の試行実施 ・絶対的な「学力の伸び」の把握分析による教育手法の評価改善 ・福岡県学力調査におけるIRT・CBT化の検討</p> <p>(3)学力低位層の学力向上 1,977 [内容] ・学力状況と学級満足度等の相関データ分析・検証 ・ICTコンテンツ等を活用した日常的学習の実施・学習定着状況の把握</p>
<p>【IRT(Item Response Theory)】 問題ごとに複数段階の難易度のレベルが設定されており、どこまで理解できているか学力の到達度を測る調査。それぞれの児童生徒が正答できるレベルを学年ごとに分析することで、学力の変化（経年変化）をたどることができる。</p> <p>【CBT(Computer Based Testing)】 コンピューターでデジタル化された調査。解答に加えて、解答履歴を取得でき、多面的な分析が可能となるほか、自動採点化等により調査結果に基づく検証・対応を速やかに行うことができる。</p>								

令和4年度当初予算編成に伴う重点施策

(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	重点施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目					
義務教育課	10	1	4	新規	不登校児童生徒 支援強化費	17,667	0	<p>1 事業目的 市町村が設置する教育支援センターの機能強化・設置促進を図り、学校内外の施設で相談や指導を受けていない不登校児童生徒の学校復帰に向けた支援や教育機会の確保を図る。 また、現在、十分な相談や指導を受けていない不登校児童生徒に対し、大学生サポーターを活用した教育支援を行う。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 教育支援センターの機能強化 10,002 研究指定地域を6地域指定し、教育支援センターの機能強化を図るための研究を行い、その研究成果の普及啓発を図る。 [研究内容] 児童生徒・保護者支援 市町村連携 [補助額] 1,667千円×6地域 (国2/9、県4/9、市町村3/9)</p> <p>(2) ラーニングサポーター事業 7,611 心理や福祉、教育系の大学で学んでいる大学生サポーターによるオンラインを活用した個別相談活動や学習支援を実施する。 [配置数] 40人×週2日×35週</p> <p>(3) 教育支援センター職員の資質能力向上のための研修体制の整備 54 県教育センターにおいて、心理や福祉の専門家等による研修を実施し、心理的な面や発達の面で課題を抱える児童生徒への対応等について理解を図り、職員の資質能力の向上を図る。</p>
<p><教育支援センター></p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童生徒の学校生活への復帰を支援する市町村設置の施設。 ・主に、教科学習や体験活動、カウンセリングを行う。 ・退職後の小中学校教員、児童心理士等を配置。 								

令和4年度当初予算編成に伴う重点施策

(参考)

(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	重点施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要		
	款	項	目							
義務教育課	10		1	4	学校感染防止・ 教育活動継続 支援事業	410,971	408,074	<p>1 事業目的 新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、学校教育活動を円滑に継続させる。 学習指導員等の外部人材を活用し、市町村立学校における教育活動の充実に努める。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1)協力医及び帯同看護師の増員 11,417 [対象] 県立中学校 5校、県立高等学校 95校、県立特別支援学校 20校 [増員] 協力医2名、帯同看護師2名 (追加所要時間718h) [業務内容] 児童生徒の健康診断</p> <p>(2)特別支援学校通学バスの増便 335,870 [対象] 県立特別支援学校 11校 [増便] 33台 (67台→100台) [業務内容] 乗車率を50%以下にし、児童生徒同士の間隔確保</p> <p>(3)学習指導員の配置支援 21,404 [対象] 小中義務教育学校の19学級以上の学校 42校 (指定都市を除く) [配置] 1校420h/年 (35週×週3日×4h) [業務内容] ティームティーチングや習熟度別授業の実施</p> <p>(4)教員業務支援員の配置支援 42,280 [対象] 小中義務教育学校の15学級以上の学校 151校 (指定都市を除く) [配置] 1校420h/年 (35週×週3日×4h) [業務内容] 換気や消毒等の感染症対策の実施 学習プリントや学校行事準備の補助</p>		
特別支援 教育課			3	1					4	1
体育			5	1						
スポーツ 健康課			5	2						
<p>【令和3年12月補正予算】 県立学校感染防止・教育活動継続支援事業 298,398千円 [対象] 中学校5校、高等学校95校、特別支援学校20校 [配分額] 1校90～360万円 [業務内容] 保健衛生用品等の購入や消毒作業の外注等</p>										

令和4年度当初予算編成に伴う重点施策

(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	重点施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目					
体育 スポーツ 健康課 高校教育課	10	7	1	継続	ワンヘルス 教育推進事業費	20,014	19,718	<p>1 事業目的 生涯にわたって自らの健康や環境を適切に管理・改善していくための資質・能力を身に付けるため、高校生を対象としたワンヘルスに関する教育の教材を作成し、その活用方法について研究を行うとともに、ワンヘルスの理念の普及・啓発を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1)ワンヘルスに関するリーフレットの作成・配布 8,220 ワンヘルスの理念を含めたリーフレットを作成し、児童生徒及び教職員へ配布 [配布対象] (公立・私立・国立学校) 小学校4年生、中学校1年生、高等学校1年生、新規採用教職員 ※特別支援学校は、対象学年部児童生徒へ配布</p> <p>(2)ワンヘルスに関する教育教材の作成・配布 7,361 ワンヘルスに関する教育についての高校生向け教材の作成 [配布対象] (公立・私立高校) 県内全ての高等学校生徒及び教職員</p> <p>(3)ワンヘルス教育推進委員会の実施 583 専門的知見を有する学識者等による推進委員会を設置し、ワンヘルスに関する教育の充実に向け、教材の開発及び指導方法等について協議</p> <p>(4)研究協力校による実践研究 3,670 各教科等における実践研究を実施するとともに、その事例と成果をまとめた実践事例集を作成し、効果的なワンヘルスに関する教育の普及・啓発 [研究協力校] 県立高校8校、私立高校2校 計10校</p> <p>(5)教育指導者向け研修会の実施 180 県内公立・私立高校の教員を対象としたワンヘルスに関する教育の研修会の実施</p>

令和4年度当初予算編成に伴う重点施策

(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	重点施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目					
義務教育課	10	1	4	継続	小中学校 I C T 活用教育推進費	21,590	31,533	<p>1 事業目的 学校において求められる立場、役割、資質・能力に応じ、教員の I C T活用能力を高めるとともに、 I C Tを活用した、より高度な授業モデルを作成し、広める。また、市町村立学校や市町村教育委員会への指導体制の強化を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1)ICT活用指導力に応じた教員研修 6,678 [対象] ・各小、中学校の情報教育について中核を担う者 ・各市町村教育委員会の情報教育について中核を担う者 ・各小、中学校の管理職（校長又は教頭） ・各小、中学校の道徳教育（情報モラル教育）担当教員 10,845</p> <p>(2)研究指定校によるEdTech推進モデル開発 [内容] スタディ・ログ（学習履歴）を使った個別最適化のモデル及び遠隔授業モデル（合同授業型、教師支援型、個別支援型）の作成、提示</p> <p>(3)ICT活用教育推進のための環境整備 4,067 [対象] 本庁及び各教育事務所 [内容] 市町村教育委員会等に対する指導助言に必要な環境（タブレットやデジタル教科書等）の整備</p>

令和4年度当初予算編成に伴う重点施策

(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	重点施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目					
特別支援 教育課	10	1	4	一部 新規	県立学校等 医療的ケア 体制整備費	190,415	179,046	<p>1 事業目的</p> <p>○ 県立学校と市町村立学校に在籍する日常的に医療的ケアを必要とする児童生徒が安全に教育を受けられる環境を整備する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 学校における医療的ケアの体制整備 187,517</p> <p>① 県立特別支援学校14校に看護職員の配置 (52名)</p> <p>② 県立特別支援学校6校にリーダー看護職員の配置 (6名)</p> <p>③ 県立高等学校等2校に看護職員の配置 (2名)</p> <p>④ 県立高等学校等及び市町村を支援するリーダー看護職員の配置 (1名)</p> <p>⑤ 指導医の委嘱 (16名)</p> <p>(2) 看護職員、教員に対する研修 1,976</p> <p>一部新 福岡県看護協会と連携し、看護職員に対して、実技演習を中心としたより実践的な研修を実施する。また、市町村立学校に勤務する看護職員に対しても県が実施する研修への参加を促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護職員研修 3日間 (長期休業中。うち1日が実技研修) ・教員研修 3日間 (長期休業中) <p>(3) 運営協議会の実施 922</p> <p>① 医療的ケアの安全実施について総括的に検証・検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師、看護職員、学識経験者により年2回開催 (7月、2月) <p>② ガイドライン検討部会の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダー看護職員、教職員、学識経験者により年3回開催 <p>③ 医療的ケアガイドラインの作成、配布</p>

令和4年度当初予算編成に伴う重点施策

(単位：千円)

課名	科目			新規 継続	重点施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要
	款	項	目					
体育健康課	10	7	2	継続	令和6年度 全国高等学校 総合体育大会 開催準備費	12,659	2,934	<p>1 事業目的 令和6年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）の開催に向けた準備を進める。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 実行委員会の設置・運営 8,715</p> <p>① 大会運営に関する基本計画、運営方針及び要項の決定 ② 実行委員会の下部組織である各種専門委員会を開催し、大会運営に必要な計画案・要項案を作成 ③ 総合開会式基本構想策定 ④ 大会の広報活動 ⑤ 共同開催4県等関係機関との連絡調整 ⑥ 先催県視察</p> <p>(2) 事務局の運営 3,944</p> <p>先催県視察、全国高体連、北部九州各県、会場地市町村との連絡調整等</p>
<p>【令和6年度全国高等学校総合体育大会】</p> <p>[目的] 教育活動の一環として生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図るとともに、高校生活動も含め生徒相互の親睦を深め、心身ともに健全な青少年を育成する。</p> <p>[開催期間] 令和6年7～8月</p> <p>[開催地] 北部九州4県（福岡県、佐賀県、長崎県、大分県） 幹事県：福岡県（総合開会式を開催）</p> <p>[開催競技] 30競技（34種目） 福岡県開催競技：6競技（7種目） （陸上競技、体操(体操競技・新体操)、バスケットボール、ハンドボール、登山、自転車(トラック種目)）</p>								

教育委員会 令和3年度2月補正予算(案)の概要

(1)総括表

一般会計

(単位:千円)

款	項	補正前の額 (A)	補正予算額 (B)	財 源 内 訳				補正後の額 (A+B)
				国支出金	県債	その他	一般財源	
10款 教 育 費	1項 教育総務費	37,699,655	0					37,699,655
	2項 小学校費	78,639,084	0					78,639,084
	3項 中学校費	45,806,841	0					45,806,841
	4項 高等学校費	63,513,808	419,162				419,162	63,932,970
	5項 特別支援学校費	21,201,991	0					21,201,991
	6項 社会教育費	3,715,206	17,034				17,034	3,732,240
	7項 保健体育費	2,489,276	36,265				36,265	2,525,541
計		253,065,861	472,461	0	0	0	472,461	253,538,322

(2)補正予算の主な内容

歳出予算

(単位:千円)

項目	補正前の額 (A)	補正予算額 (B)	補正後の額 (A+B)	主な内容
増額補正	0	419,162	419,162	・香椎工業高校外7校のトイレ改修
	0	53,299	53,299	・新型コロナウイルス感染症の影響により収支の悪化が生じている県有施設の指定管理者に対する支援 (県立スポーツ科学情報センター外7施設)
合 計	0	472,461	472,461	

繰越明許費

(単位:千円)

款	項	金額
10款 教 育 費	1項 教育総務費	
	3項 中学校費	
	4項 高等学校費	419,162
	5項 特別支援学校費	
	6項 社会教育費	
	7項 保健体育費	
計		419,162